

令和3年3月1日

大阪府立りんくう翔南高等学校第十回卒業証書授与式 式 辞

天地自然の営みが風光る春の訪れを告げています。この佳き日、ここに大阪府立りんくう翔南高等学校第十回卒業証書授与式を挙行できますこと卒業生はもとより、私達教職員にとっても大きな喜びであります。

保護者の皆様、お子様のご卒業誠におめでとうございます。お子様が本校で高校生活を過ごす間、多くの喜びとご心配ご苦勞があったことと思います。どんな時も惜しめない深い愛情を注がれた結果本日お子様は高校教育を終えられました。保護者のみなさまに敬意を表すとともに、この間本校の教育に対してご理解ご支援賜りましたこと高いところからではございますが心からお礼申し上げます。ありがとうございました。お子様の卒業後も引き続き、りんくう翔南高等学校を温かく見守っていただきますようお願い申し上げます。

さて、ただいま卒業証書を授与した（二〇六）名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。人生の中で最も多感なかけ替えのない時間を本校で過ごしていただきました。この間、多くの出会い、挑戦と失敗、喜びや達成感、時には悲しみもあったのではないのでしょうか、これらすべての経験と学びがみなさんの成長の確かな糧となり、次のステージに向かう土台が完成しました。思いを新たに、自信をもって進んでください。同時に忘れてならないのは、人は人の中で育つということです。支え支えられ長い人生を歩むのです。今を全力で生き、未来を夢見ることが基本ですが、時に過去を振り返り、みなさんを愛してくれた人に感謝することも大切です。本日は人生の大きな節目です。※それでは瞳を閉じてください。5秒間時間をとりますので心の中で感謝の思いを伝えてください。

さて、「society5.0」時代の創りてとなるみなさん、在学中はみなさんの成長を願い、様々なメッセージをお伝えしました。重なることもあろうかと思いますが、本日、始まりの日にみなさんのますますの成長と活躍を願い、メッセージを3点お伝えします。1つめは「学び」についてです。今後みなさんはグローバル化やAI技術の飛躍的な進歩、価値観の変容など、これまでにない激しい変化の中に向き合います。また、長い人生、運命的な出会いが必ずあります。喜びを分かちあえる出会いばかりでなく困難な状況とも出会うことでしょう。このような中、みなさんが仕事をもち、社会に貢献しているときの学びとは、新たなことを拒否せず受け入れる姿勢を持つということです。多様性が広がれば様々な意見が生まれ、それが新しい価値や文化を育みます。日々変化する社会情勢や進歩する技術、自国や世界のあり方について、また、出会った人や環境から主体的に学び続けてください。2つめは、人間力の向上です。先にも述べましたが、AIやビッグデータ、先進テクノロジーが飛躍的に進歩しています。ただし忘れてはならないのは、それをコントロールするのは、人であるということです。技術が進めば進むほど人間力がとても大切になります。特に周囲への思いやりや物事を謙虚に受け止められる資質は大変重要です。同時に何事にも興味関心を持ち果敢にチャレンジし自尊感情を高めること。グループダイナミズムを効果的に発揮できるコミュニ

ケーション力や、互いを高め合う力、感性を働かせながら自分らしい生き方を探求する力を身につけて下さい。外圧に対し表面的に抵抗するのではなく、これらの内なる力で跳ね返し、逆境を糧にして飛躍のチャンスに変えていく、しなやかな強さを育んでください。3つめはSDGs（エスディージーズ）を意識した歩みを期待します。これは2015年9月に国連サミットで採択された国際目標です。【持続可能な開発目標】と訳されています。今、世界中で認知度が上昇しています。簡単に解説しますと「環境」「社会」「経済」の3つが調和した発展をめざそうと言うもので、地球規模で危機感を持った多くの人の熱い思いをまとめたものとも捉えられます。SDGs（エスディージーズ）の理念の一つに「だれ一人とり残さない」「誰かが喜んでいる陰で誰かが苦しんでいてはいけない」というものがあります。これはまさに在学中にみなさんに伝え続けた、又これからも持ち続けていただきたい周囲への思いやりです。SDGs（エスディージーズ）では、17の目標・ゴールが示されていますが、すべての始まりはこの強い思いからです。「高き理想」「燃ゆる希望」のもと、目標達成にむけ共にチャレンジしましょう。

終わりになりますが、コロナ禍という困難な状況の早期の収束、並びに二十一世紀を生き二十二世紀をも創造するみなさんの将来のご多幸を心から祈念して、卒業式の式辞といたします。

令和三年三月一日

大阪府立りんくう翔南高等学校長

藤 田 繁 也